

2026年3月31日

各位

株式会社北海道銀行

**株式会社食創と
ほくほくサステナブルファイナンス(グリーンローン型)を契約締結**

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、株式会社食創（代表取締役社長 竹森 直義）と「ほくほくサステナブルファイナンス（グリーンローン型）」^(※1)の契約を締結しましたのでお知らせいたします。

(※1) [2021年9月16日付「ほくほくサステナブルファイナンスの取扱開始について」参照](#)

記

1. グリーンローンについて

国内外のグリーンプロジェクト^(※2)に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、資金使途がグリーンプロジェクトの充当に限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートを通じ、透明性が確保される等の特徴を有しております。

(※2) 地球温暖化対策、再生可能エネルギー普及、廃棄物削減、自然保護など、環境負荷低減と持続可能な社会を目指す事業や活動の総称を指します。

2. 本ローンの概要

借入人	株式会社 食創
融資金額	200 百万円
実行日	2026年3月31日（火）
資金使途	精米工場のリニューアル工事（うち空調及び設備）
貸付人	北海道銀行
第三者評価	ローン・マーケット協会（LMA）「グリーンローン原則 2025」との適合性について、株式会社日本格付研究所（JCR）より、JCR グリーンローン総合評価「Green 1」とする評価レポートを取得しております。

3. 株式会社食創について

株式会社食創は 1952 年に北海道帯広市で設立し、食品・エネルギー関連の総合卸売企業として、地域社会の食と暮らしに関わる総合的な事業を展開しています。主力の米穀事業は、玄米の低温管理から精米・無洗米加工までを一貫して行う体制を構築しているほか、製菓・製パン向け小麦粉や砂糖、輸入食品など幅広い食品の供給を担っています。また、道内の畜産業界を支える飼料供給や、ライフラインである LP ガスや灯油の卸・小売業にも注力しております。

2025 年公表の「SDGs 宣言書」では、「環境」を重要課題の 1 つに定めております。環境負荷の低い商品提供の実現に向けて、令和 6 年度北海道経済部「カーボンニュートラルファーストステップ支援事業委託業務」の支援を受け、エネルギー消費量や GHG 排出量把握、主要排出

源における省エネ対策の特定等を行い、カーボンニュートラルロードマップを策定しました。こうした取り組みをふまえた結果、30%以上の省エネルギー効果が期待できる「精米工場のリニューアル工事（うち空調及び設備）」を計画立案し、本ローンによる調達資金を充当します。

今後は環境配慮型組織体制を構築し、事業全体の GHG 排出量計測する体制を整えるとともに、成長戦略を策定する予定です。カーボンニュートラルロードマップの着実な実行に向けて、各種設備の電化や再生可能エネルギー等の導入を検討するなど、脱炭素経営の実現に取り組んでまいります。

4. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 経営企画部	サステナビリティ推進室	北谷	TEL : (011)233-1009
経営企画部	広報 CSR 室	坂野	TEL : (011)233-1005